

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

兵庫県公立豊岡病院組合 公立豊岡病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	500床以上	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	28	対象	ド透I未訓ガ	救臨が感へ災地
人口(人)	建物面積(m <sup>2</sup> )	不採算地区病院	看護配置	
-	42,303	非該当	7:1	

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
463	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
51	4	518
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
455	-	455

**グラフ凡例**

- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)
- 【】 平成28年度全国平均

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

## I 地域において担っている役割

但馬圏域の中核病院として、高度専門・急性期医療を提供し、救命救急センター、周産期医療センター、認知症疾患センター等の運営を行うとともに、がん診療連携拠点病院、災害医療センター、へき地拠点病院、第2種感染症指定医療機関等の役割を担っている。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率  
会計制度の変更、構成市(豊岡市・朝来市)との協議に基づく一般会計繰出基準の見直し等により、26年度～27年度は好転したが、28年度は医療収支の悪化に伴い落ち込んでいる。また、過去の退職金に係る繰延勘定償却が医療外費用に計上されているため、類似平均よりも低い比率となっている。

②医業収支比率  
収益は増加しているが、人件費、材料費等の費用増により26年度以降の収支は悪化している。28年度は診療報酬のマイナス改定、人員配置の増と施設基準取得のタイムラグ等により、収支悪化が進んだ。また、ドクターヘリ運航に係る委託料等を医療費用に計上する一方、補助金は医療外収益に計上しているため類似平均よりも低い比率となっている。

③累積欠損比率  
平成26年期中に減資による補てんを行った結果、減少している。

④病床利用率  
周辺に競合医療機関がなく、類似平均よりも高い水準を維持している。

⑤⑥入院・外来患者1人1日当たり収益(円)  
診療単価の低い精神科を有している。診療単価の高い眼科がない、病床利用率が高い等の理由により平均値よりも低い。

⑦職員給与費対医業収益比率、⑧材料費対医業収益比率  
施設基準取得のための人員増、手術件数の増加等に伴い、両比率とも悪化している。特に28年度は施設基準の取得遅れや在院日数の短縮等により医業収益が伸びず、医業収益に占める費用の割合が上昇した。

### 2. 老朽化の状況について

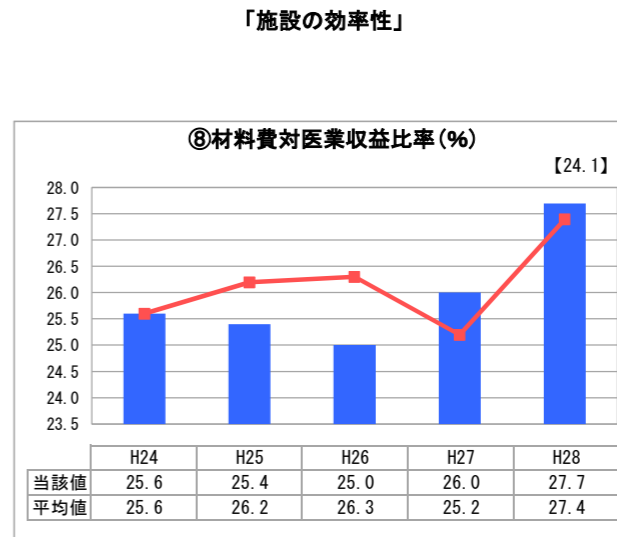
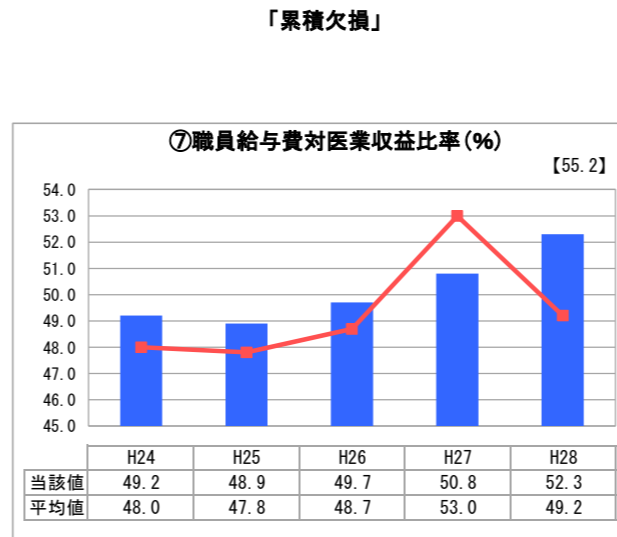
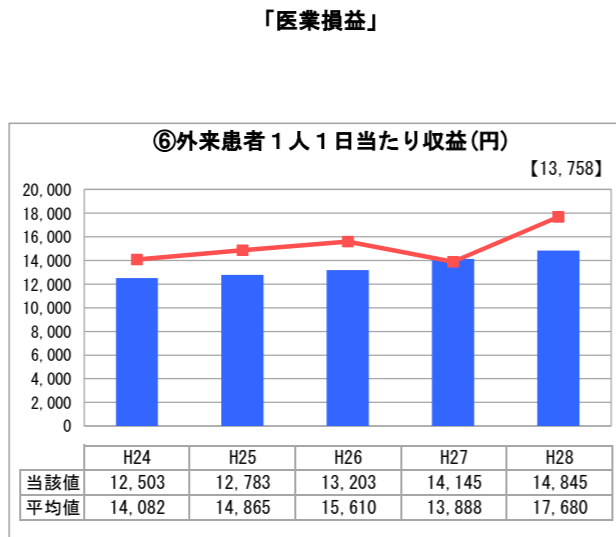
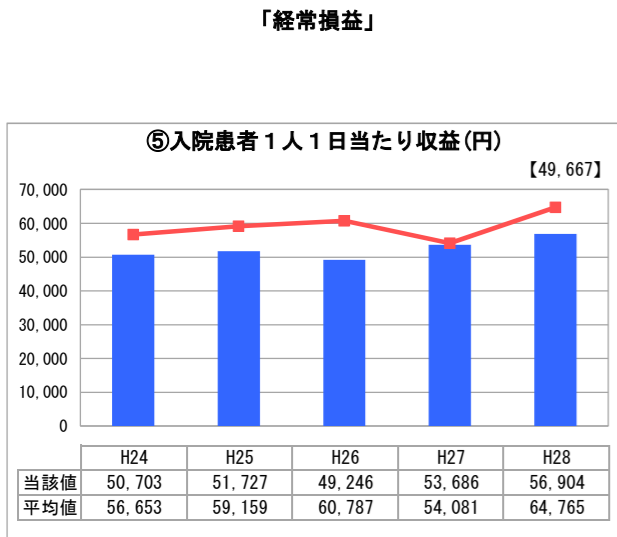
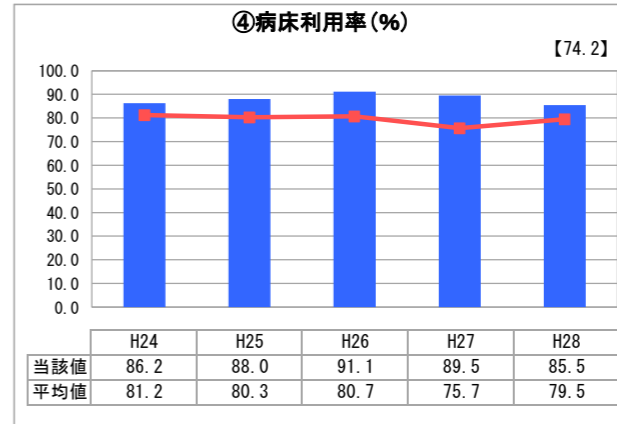
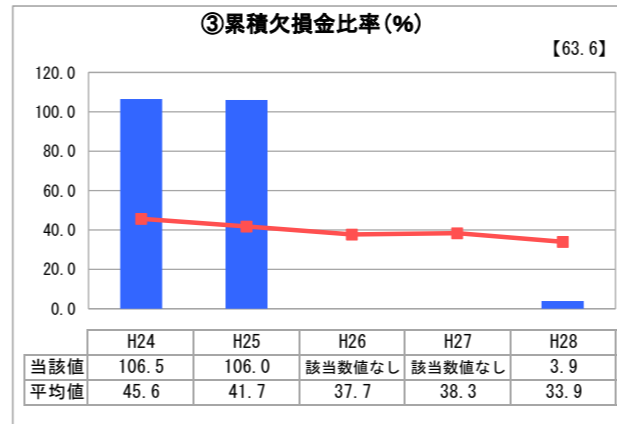
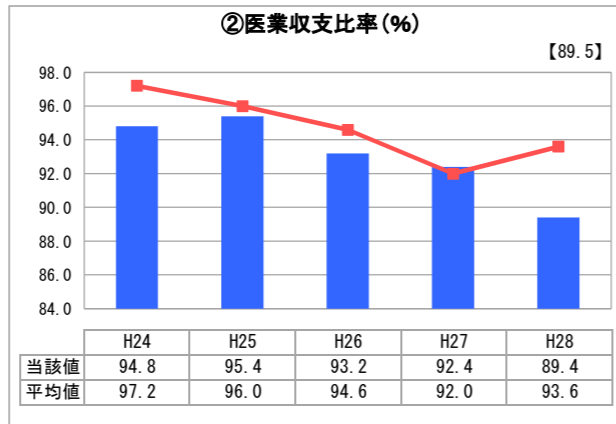
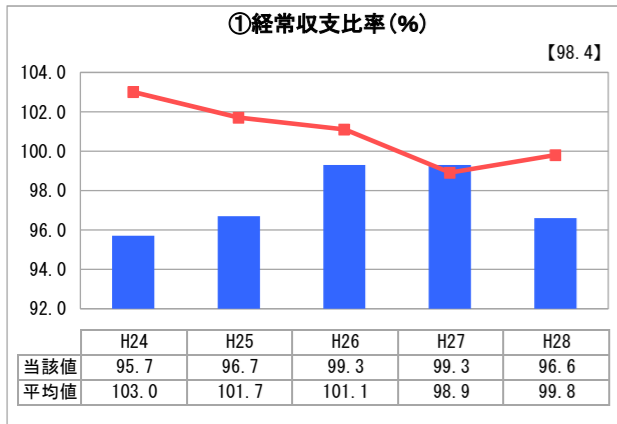
①建物  
平成17年度に新築移転した。老朽化による大規模改修・建替え等の予定はなし。

②機械備品  
新築移転時に整備した医療機器が更新時期を迎えており、年次的に更新が必要。

### 全体総括

圏域唯一の高度急性期病院として、高額医療機器の導入、職員配置の充実など医療の質の維持・向上に取り組んでいるが、人件費や材料費、投資等の費用増加によって、収支均衡には至っていない。組合内病院や地元開業医との連携の推進による患者確保や施設基準取得による単価増など収益増加に取り組むとともに、費用対効果の検証など費用削減にも積極的に取り組む。

## 1. 経営の健全性・効率性



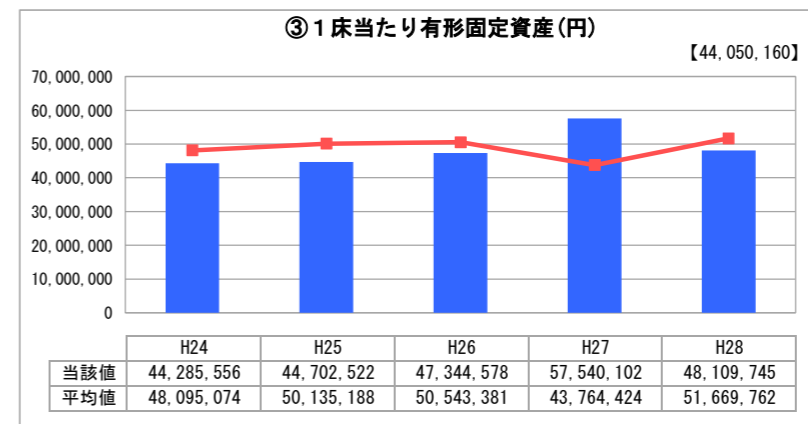
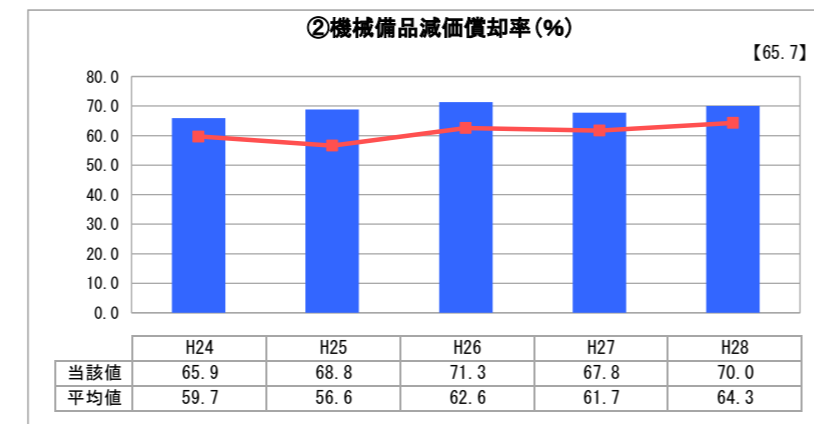
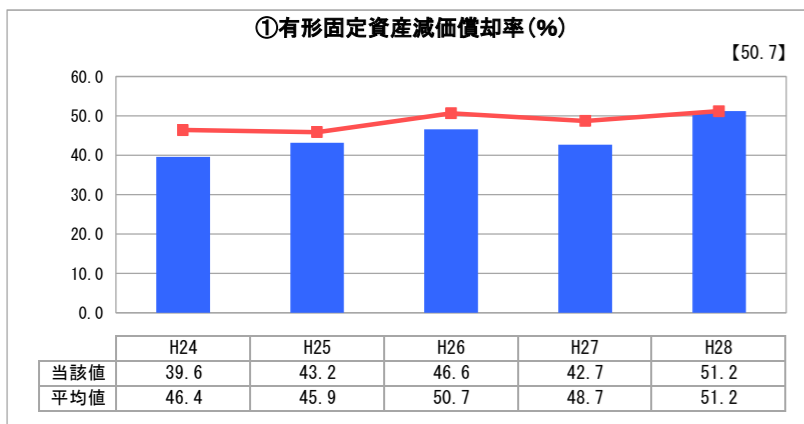
「収益の効率性①」

「収益の効率性②」

「費用の効率性①」

「費用の効率性②」

## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」

「機械備品の減価償却の状況」

「建設投資の状況」

※ 「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。